

幼児のアレルギー性疾患について

出典	保育研究 (0286-5246) 40 巻 Page65-72 (2002. 03) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2002215947)
著者	飯岡かおり 他
調査地域	北海道札幌市
調査時期	2011 年 11 月
調査対象	3~6 歳 (幼稚園児)
依頼数	271 人 (3 歳児 : 15 人、4 歳児 : 66 人、5 歳児 : 121 人、6 歳児 : 69 人) (男子 : 135 人、女子 : 136 人)
診断方法	親の申告
アレルギー性鼻炎の罹患率	23.2% (22 人/95 人)
アレルギーの有無	現在アレルギーがある者 : 24.7% (67 人) 過去アレルギーがあった者 : 9.6% (26 人)
調査概要	札幌市の幼稚園児のアレルギー疾患の状況と遺伝性について調査した論文。 気管支喘息に続いて、ハウスダストによるアレルギー性鼻炎が多く、 全体としては接触、吸入性のアレルギーが増加していた。
アレルギー性鼻炎の原因 (対象 22 人、複数回答)	ハウスダスト : 11 人 (33.2%) 不明 : 9 人 (27.3%) 動物 : 3 人 (9.1%) 牛乳・花粉・植物・ダニ : それぞれ 2 人ずつ (6.1%) そば・その他 : それぞれ 1 人ずつ (3.0%)